

愛媛県支援機関 & 金融機関

健康を願い自信を持って育てたすっぽん 違いのわかる顧客へネット販売に挑戦!

愛媛県宇和島市・すっぽん養殖・販売 水幸苑の場合

「すっぽんの養殖をしてみたい」

愛媛県宇和島市でハマチやタイの養殖をしていた水幸苑の今田寿弘社長は、ある日滋養強壮や美容、健康に関連が深いすっぽんに魅せられ、養殖の道に進む。

初めの3、4年はほとんどが失敗。養殖では病気になる抗生物質を投与するケースが多いが、「葉



代表取締役 今田寿弘氏(写真左) 工場長 今田富也氏(右)

品質に高い自信 市場で埋もれる悩みも

近隣の休耕地を借り入れ、養殖池を増やしてきた。農薬などが混入しないよう、池より高台に農地がない土地を選定。高温の場所ですっぽんを育てるには1年で大きく育つが、水幸苑では、自然の中で3年かけて育てる。

商品としては、すっぽんをそのまま出荷するほか、サプリメントや鍋セットなども販売している。「京都の料理人の方からは『さばいた瞬間に他のすっぽんとの違いがわかる。脂の乗りが違う』と高

い評価を受けています。100%国産。サプリメントも混ざりものを入れず胸を張れる商品です」と今田社長は自信を見せる。

ただ、商品価値の高さは、流通の局面では「難しさ」にもなっている。「違いがわからない」「すっぽんであればとくに品質にこだわらない」顧客にとって、水幸苑のすっぽんは割高に見えてしまうのだ。

同社工場長の今田富也氏は次のように打ち明ける。「養殖方法の違いをわかっていただき、水幸苑のすっぽんを選んでほしい。かつては知り合いに任せてネット販売もしていましたが、それが終了するのに伴い、自社のホームページを持って販売していきたいと考えてようになりました」その思いをくみ取ったのが、地元の水幸苑銀行・岩松支店の中井健二支店長だった。

愛媛銀行のヒヤリングから 県の支援につながる

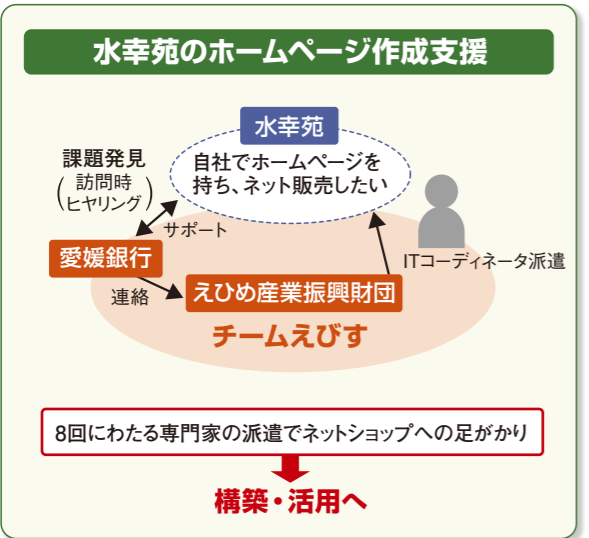
愛媛県では、公益財団法人えひめ産業振興財団を取りまとめ機関として、地域支援機関が連携し、企業の販路開拓やIT支援を行う「チームえびす」の活動を展開している。愛媛銀行はこのメンバーであり、ヒヤリングした水幸苑の課題を受け、同事業の専門家派遣へつなげたのだ。専門家としてはITコーディネーター

会社概要
水幸苑有限会社
愛媛県宇和島市津島町岩淵乙15
●設立：1995年
●従業員数：32名
●事業内容：すっぽんの養殖、加工、販売
●URL：https://suppon-suikouen.jp/



水幸苑 今田社長

水幸苑のホームページ作成支援
開設したホームページ(上)と鍋セット(左上) サプリメント商品例(左下)
https://suppon-suikouen.jp/



池の中のすっぽん。冬季は冬眠する

「ネットで商品を買う経験がなかったたのでその体験からスタートしました。写真や文章でどう訴求するかの内容面、受注の通知方法といった技術的なことなど、いろいろ教えていただき、『これならで

時をこう振り返る。『ネットで商品を買う経験がなかったたのでその体験からスタートしました。写真や文章でどう訴求するかの内容面、受注の通知方法といった技術的なことなど、いろいろ教えていただき、『これならで

支援金融機関紹介
愛媛銀行 岩松支店 支店長 中井健二氏(写真中央)
営業統括部 調査役 久家浩二氏(左)
営業統括部 副調査役 中村一郎氏

水幸苑の課題を発見し、自行が参加する「チームえびす」の支援へ導いたのが地元金融機関の愛媛銀行である。岩松支店長の中井健二氏は、「この地域ではまだホームページを制作する企業が少ない中、これだけの商品をお持ちなのでネット販売はどうされているのかを聞いてみた」と当時の状況を振り返る。支援ニーズを把握し、「チームえびす」の取り組みを通じて専門家・竹内尚志氏の派遣へとつな

サポーター紹介
愛媛県南部を中心に活動するITコーディネーター。コンサルティングに加え、パソコン教室やシステム開発、コンテンツ制作など、地元企業が求めるITサービスを幅広く提供している。水幸苑の支援では、「チームえびす」の支援スキームを使い8回の訪問を行った。同社の強みなどを整理し、ホームページに載せるコンテンツを検討。ホームページ全体の提案書をまとめて、初めての取り組みとなる同社を一步步つナビゲートした。今後は、リピーター獲得への施策や展示会など他の販促方法との連携についてもアドバイスを送っていくとのことである。



ITコーディネーター 竹内尚志氏 インフォデザイン

「このすっぽんの良さを全国に広めたい。今の倍の10万匹を養殖して全国シェアを伸ばしたい」現在73歳という今田社長は、すっぽんパワーを証明する元気があ